

課題番号3

課題名	【重点課題3】マーケットインの発想による重点品目の生産振興 ぶどう栽培の省力化および品質・単収向上に向けたグローアッププラン(ぶどう)の取組	
対象: ぶどう生産者(羽曳野市・太子町・大阪狭山市)	計画期間 R3~R8	
	事務所名 南河内農と緑の総合事務所	
普及課題	活動方法	活動成果
1. スマート農業導入による 労力軽減 2. シャインマスカットの品質 向上及び単収の増加	1. 自動換気の普及支援 2. データに基づいた栽培管理 によるシャインマスカットの品質 向上及び単収の増加の普及支 援	①担い手の売上額17.7%増※(南河内:13.5%増) (※4.46億円→5.25億円) ②新規参入者の利用集積1.4ha増(南河内:0.65ha 増) ③労働時間10a当たり5.7%縮減※(南河内:5.1%縮 減) (※換気作業の労働時間縮減) ④単収10a当たり10.4%増(南河内:6.7%増)

総合評価 (コメント)	
A : 3名 B : 2名	
<p>■市町村や関係団体、さらには広域プロジェクトとして中部事務所との連携を一層はかりながら、ブドウ産地としての発展の方向をより具体的に展望してほしい。</p> <p>■現状把握と課題抽出、目標設定とそれらに向けた活動の実施、いずれもコンパクトに設定されているのでわかりやすいし成果もあげられているが、欲を言えばもっと大きな目標設定をして実現できるような取組も盛り込んで欲しいところ。シャインマスカットは競合他産地との住み分けをもっと具体的に進めて行けば持続可能な取り組みになると思う。</p> <p>■今後の取組にも挙げられているが「大阪産シャインマスカット」を買い支えてもらうための消費者向けPRは確かに必要。「南河内フルーツ地域活性化計画」には、ぜひとも消費者への発信も盛り込んでほしい。今後も、2つの地域の取組について情報共有し、学び合うことで得られる効果に期待している。</p> <p>■シャインマスカットは全国で競合が多い。南河内は全国有数のデラウェアの産地であるとのことで、これは強みにもなるうと感じる。デザインの視点も取り入れて振興策を考えるとよいのでは。余談だが、フルーツロード沿いの景観にフルーツ感が少ないのが気になる。</p> <p>■資料が見やすく、数字が目に入ってきた。シャインマスカットではなく、大阪独自の品種はないのかな？</p>	

評価 A: おおむね適切である。 B: 部分的に検討が必要である。 C: 見直しが必要である。